

刊夕 日二十二月七



日刊を復して読書日記を併用
書評 十五編 二五編
讀書名録 第二編 指定 二十編

皆さんによろしくと云ふをば間諸位好でウエンチニーウエイハイオ、紹介状を書くは寫紹介的でシエチエシニアオデシン、活動を見に行くは看電影兒去でカンテエンイールチュイと云

愛谷踏切排除の 道筋改修工事

道路改修を視察

見なかつた

を行ふ

海に動く畠田の人波
各漁近年にない盛り

卷之三

平驛の乗降一万六千一百名
泉驛は未曾有の一萬五千

打綻く炎暑に海戀しの昨廿一日の土用第一丑は日曜の上に九十度を超える暑氣かゝり加へて名刹波立藥師の例祭等々打重なる好條件で四倉、久の濱方部をはじめ豊間、江名、小名濱、勿來その他石城海岸は文字通りの人波が押寄せ平驛の乗降は定期回數を除き合計一萬六千百（乗七九〇〇、降八二〇〇）内四倉行五千、久の濱同八百名を算し上下二本の臨時（平・

久の濱間)にも呑吐し得ず午前九時四十分平發、久の濱行き臨時の如き一杯に詰めて尙ほ四百名を次列車に残す雜沓これに準じて下川及び小名濱を控いる泉驛は緩驛からのみで三千三百に達し總數一萬五千、勿來驛は一千七百餘の乗降この外各所共に自動車で運ばれた數も車台に鉛なりの盛況、海岸地の何れも十年この方の人出と云はれた

部民を擧げる協力で 更生した折松部落

疲弊から蘇る貯蓄報國

石城郡入選野は郡内に於ての
僻村で同村大字折松部落は略
ぼ中央位置の村役場から西へ
更に一里餘を距つ四面山に包
まれる冷害地で自治政があがら
ず疲弊困憊の極にあるも三年
程以前から指導者の意に従つ
て木炭製造の共同作業及び主
農産の販賣その他を共同販賣
するもの等約四十戸を擧げて
結束し各種集會に老幼男女一
名を欠かさずしかも定刻より
一分間をも遅れるものがない
までに部落民の氣持が改まり
從つて農産物品評會等にも見
事な成績を上ぐるに至つたが

来る二十四日常會を開いて戰時下農村對策強化を附議の答である、なほ同部落は今次事變以來毎月一日、十五日の早朝その日の仕事前に舉民饑守に集まり皇軍の武運長久を祈願し其の都度一名十錢づゝを貯金實行今や相當宛に達してゐる

軍の勞苦を偲び

然として有産者の意を遊び豫期以上の好成績裡にあることは屢報の如く其の後の寄附左記を受けて累計二萬九千六百の上総視廳から出張の刑罰

視されるに至つた
▲五百四堀江正直 二百四
平運輸會社 百五十圓諸橋
敬一郎 百圓野崎滿藏 同
映畫館平館(以上)

書架を整理して不圖これらは現代畫壇の巨匠達たるものと森下博氏が繪と頒布の理由は畫伯の明瞭であるから兩方(紙上質問に御答へた)

口・沙・村・人・編
こんなものを見出した、そ
詔勅本闘雪齋伯が選集印刷し
刻版したので其編輯
の序文と森下氏の慶皇の辭
ながら採録することにし
致します)

北畠親房
村上源氏、權大納言
な南朝の忠臣たり、建
宮に准じ北島准后と号
吉野にへり正平九年
神社、岩代篠山神社の
神皇正統紀は此人の苦
小山田の苗代水のひき
楠木正行
正成の長子、正平二年
等一門と共に討死す。
らる
かへらじとかねておも
むる
二條爲明
後醍醐天皇に任へ、せ
んとせる時、この歌
しかへしける、
おもひきやわがしき島
おもひしとは

帥重の子、顯家顯信顯能等一門、
建武・永興の際從一位に叙せられ
稱せらるる奥羽常陸に軍を督し再び
に親房顯家父子を祀る、有名なる
者なり、
／＼に人のこゝろの澤る世ぞうき
年正月五日四條畷に力戦し弟正祐
年二十三、四條畷神社に祭祀
へば棹弓なきかずに入る名をぞ

の管でまた平郵便局に於ても
同半休廢止に決し爲替貯金、
保険年金その他各種総口貯金、
事務等平常通り取扱ふことに
なつた

皆さんはよろしくと云ふをば聞諸位好でウエンチューウエイハイオ、紹介書は寫入紹介書を書くは寫入紹介書でシエチエシシアオデシ、活動を見に行くは看電影兒去でカンテエンイールチユイと云

愛谷踏切排除の
道路改修工事

多年の懸案であつた磐越東線
好間村愛谷地内に於ける踏切
二ヶ所を取除く縣道赤井停車
場川中子線の道路改修は濱地
主の承諾がまとまり既に一部
着工中であるが去る二十日縣
土木部道路課から室井書記出
張好間村及び地元愛谷の關係
者と協議を遂げたが右改修竣
工は本年十二月頃になるであ
らう

小名濱町では同町の鎮守諏訪
神社昇格運動

道路改修を視察
縣土木部道路課の守屋技師
去る二十日石城に出張石川
本線(石住)地内の道路改修工事
に三株勿來停車場線、勿來
と川部村境の道路改修を視察し
し當日四倉町泊の翌二十一
同町漁港修築工事を視察し
相馬郡原町に向つた

は湯並町日察種十毛たを興與

見なかつた

中堅農現地講習

石城郡中堅農民講習會ではある二十六日午前九時泉驛合で男女生一同栗田郡農林の指導を以て山村の現地講習（主として宅地利用）をなす。

未教補充兵ご點呼豫習の教育

小名濱町の郷軍分會では来る八月四日から十三日に至る日間同町小學校に於て未教を行ふ。

幼兒の溺死

石城郡磐崎村の西郷字金山伊藤寅松三男勝夫（九）は

食糧資源確保に
一坪農園を
(中)

家庭向蔬菜園設計

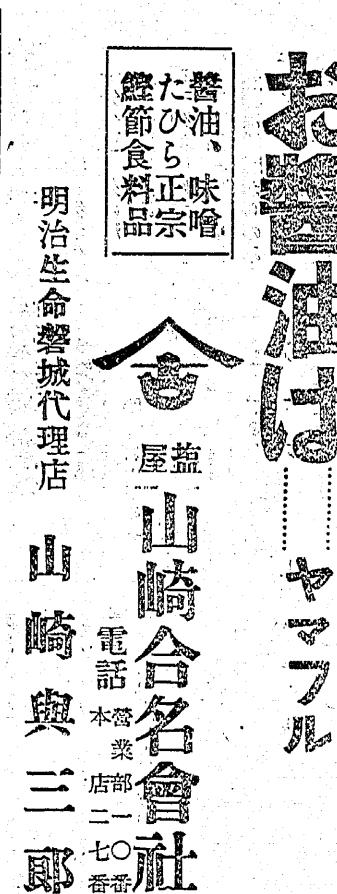
【小雑栽培は人參に準する
心に虫が落き易いから注意
を要する、
「ほうれん草」發芽がむづか
しいから水に種を浸して一
晩ぐらゐ置いてから播く、
酸性の土壤を嫌ふから播種
の前に木灰などを一坪當り
一升位撒くとよい、防寒に
は葉の落いた笹竹の枝など
一尺角に一本位立てるると
よい、西洋種より日本種の
方が味もよくそれに西洋種
は春から夏の栽培に用ひる
△第三例、ふだん草(七月上
旬播種・八月中旬收穫)山
東菜(八月下旬播種・十月上
旬收穫)莢豌豆(十月中旬
播種・五月下旬收穫)

【ふだん草】あまり美味では
ないが強健で真夏の菜として
は六ヶ敷いのでかうした山东
菜の如きを次々と収穫したが
は栽培し易い、次々と収穫す
るが大きな株になれば外葉か
ら順次収穫出来る、
【山東菜】結球白菜は家庭で
油粕で下肥の類は控へ目に木
灰の類を多く用ひる、真冬に
よい、早播は虫の害が多いから
注意を要する、
【莢豌豆】一尺位の畦に一尺
株間で一ヶ所に三粒づゝ播く
は適當に霜除けをする、種類
は蔓生し種の方が支柱を立て
ないでも済むから、家庭では
便利である、秋の内は発育が
いから間作に「ちじや」升日大
根、ほうれん草、小燕などを
栽培することが出来る、

▲第三例、この例は面白い



號七〇六 新治淋



明治生命磐城代理店 山崎與三郎
電話 本業部二七〇番

も醤油はヤマフル

スペイン G H N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味銅菊酒
(平二) 西村屋藥鋪 (電三)

便利で 日下家政婦會の
經濟な 派出場を御利用下さい
（会員同志の御加入（派出なき閑暇に裁縫等）
を御説明致します（編物をお教授致します）
平市一丁目三十一番地（電話七二三番）

婦產婦入院隨意
婦人科 太木家
平市 新川町一六四番

内科 小兒科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町 電話一三番
高久樂院
院主 医學博士 高久忠
院長 教學士 高久忠

平病院 (平市元共濟病院跡)
院長 医學博士 鈴木定藏
小兒科院長 鈴木定藏
内一般外科 副院長 高橋俊幸
皮膚泌尿器科 長 鈴木定藏
物理的療法科 院長 吉本孝平
時間 每日午前八時より午後九時まで
限りにあらず (急患は此の)

山崎合名會社
監理店 山崎與三郎
九九・九電

債券、公債
多田井商店
平市大工町 電話五九一番

(入院隨時)
根本本庄次郎
根本貞雄
電話三三三番
根本人科醫院

安田系統の帝國海上
火災代理店
事務取扱者 阿部助次郎
平市二丁目 電話一六番

日本洋品販賣
公司
（五六）屋砂販（前驛市平）

皮膚科
性病科
江尻伊三郎
醫學博士
平市田町 電話一三番
江尻皮膚科
院醫江